

ごあいさつ**岩手県ユニセフ協会 会長三浦 宏**

本日はお忙しい中、当協会の 15 周年記念「3.11 私たちは忘れない」にご来場いただき誠にありがとうございます。また、日頃よりユニセフ活動に温かいご理解とご協力をいただき心から御礼申し上げます。

岩手県ユニセフ協会は、2001 年 12 月 8 日、すでに「日本ユニセフ協会花巻友の会」として活動を推進していた花巻友の会や、県内でユニセフ活動に取り組んでいる学校・生協・企業・諸団体のみなさまと手をつなぎ、「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という宮沢賢治に共鳴しつつ、ユニセフ支援活動をすすめて参りました。この間、多くの子どもたちにユニセフ活動に参加していただきました。

2011 年 3 月 11 日、東日本大震災に遭遇し、ユニセフ支援の地元組織として、諸団体・ボランティアメンバーとともに、被災地の子どもたちに寄り添い支援活動に取り組んできました。

震災から 5 年目の節目の年、すべての人に感謝の気持ちを込めて「ありがとう」を届けます。

これからも世界中の子どもたちの健やかな成長を願い、ユニセフ支援の輪を広げてまいりましょう。

メッセージ**岩手県ユニセフ協会設立 15 周年に寄せて****岩手県知事 達増 拓也**

この度、岩手県ユニセフ協会が設立 15 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴協会が、平成 13 年に前身の財団法人日本ユニセフ協会の岩手県支部として設立されて以来、未来の担い手である世界の子供たちのため、本県においても昨年度開催されたユニセフ・キャラバン・キャンペーンなどの啓発活動、募金活動などに、势力的に取り組んでこられましたことに心より敬意を表します。

東日本大震災津波に際しては、発災後いち早く復興支援活動に着手され、その後も継続して県内の子供たちや地域の復興に向けた活動を通して、多大なる御支援をいただいておりますことに改めて厚く御礼申し上げます。

本県では、震災からの復興をめざす中で、地域の「絆」や国際的な「絆」を通して、地球的な視野で世界の問題を考えて行動する“think globally, act locally”の精神が育まれてきております。

貴協会の活動を通じて、子供たちが、自分たちにできることは何かに気づき、考え、将来へ向けた行動につなげていくものと期待しています。

貴協会におかれましては、紛争や自然災害などにより厳しい生活を強いられる数多くの子供たちの未来への希望に向けて、今後とも一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の活動がますます御発展されますことを心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

岩手県ユニセフ協会設立 15 周年に寄せて**盛岡市長 谷藤 裕明**

岩手県ユニセフ協会が設立 15 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会は、平成 13 年に設立されて以来、公益財団法人日本ユニセフ協会との協力協定のもと、岩手県内において、世界の子供たちの権利の保障や健やかな成長のため、精力的に広報活動、啓発活動などに取り組んでこられましたことに心より敬意を表します。

また、個人や企業等に「ユニセフ募金」を広く呼びかけることで、困難な状況にある子どもたちがすこやかに育つことができるよう、御尽力されていること、そして、東日本大震災にあたりましては、日本ユニセフ協会と連携し、緊急・復興支援活動に取り組まれましたことに心より御礼感謝申し上げます。

子どもたちは未来を創る大切な存在であるにも関わらず、依然として世界には紛争、自然災害、貧困などに苦しんでいる子どもたちがいることは、大変痛ましいことであり、皆様がこのような現状を広く発信され、子どもたちの支援に成果をあげられてきたことは大変意義深いことと存じております。

結びに、今後とも世界中の子どもたちの幸福のために御尽力を賜りますとともに、貴協会の益々の御発展と皆様の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。